

1 研究主題

# 「確かな学力」の育成を図る学習指導の在り方

～「個」を生かす「協働的な学び」を取り入れた授業改善～

2 主題設定について

(1) 主題設定の理由

生産年齢人口の減少、グローバル化の進展や絶え間ない技術革新等により、社会の変化が加速度を増すとともに、新型コロナウイルス感染症の世界的な感染拡大により、予測が困難な時代となっている。

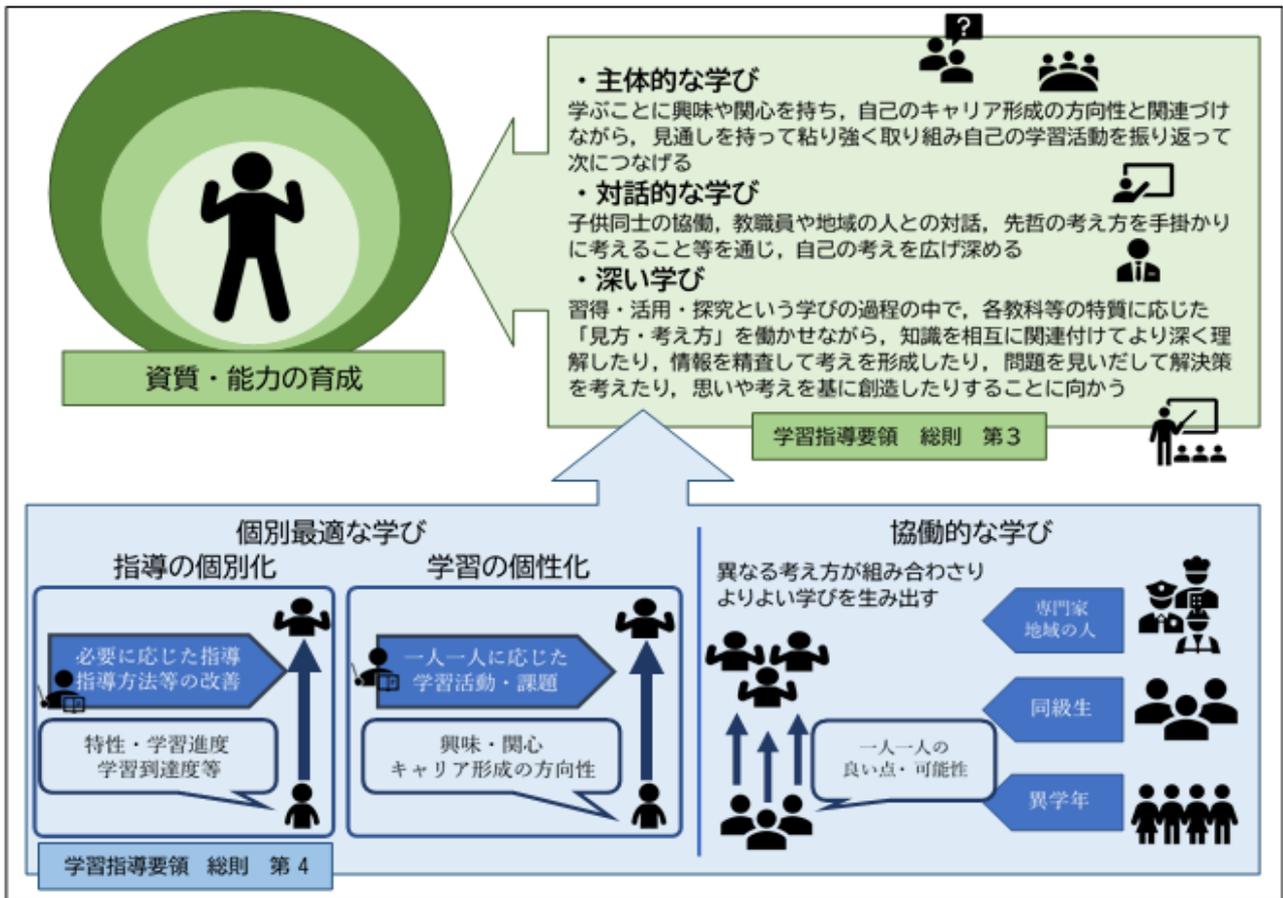
そのため、学校教育においては、一人一人の児童生徒が、自分のよさや可能性を認識するとともに、あらゆる他者を価値のある存在として尊重し、多様な人々と協働しながら様々な社会的変化を乗り越え、豊かな人生を切り拓き、持続可能な社会の創り手となることができるよう、各学校の特色を生かしたカリキュラム・マネジメントを行い、育成する資質・能力を明確にしながら教育活動の充実を図ることが求められている。

学習指導要領においては、これからの時代に求められる資質・能力を身に付け、生涯にわたって能動的に学び続けることができるようにするために、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善を推進することを求めている。加えて、「基礎的・基本的な知識及び技能の習得も含め、学習内容を確実に身に付けることができるよう、児童や学校の実態に応じ、個別学習やグループ別学習、繰り返し学習、学習内容の習熟の程度に応じた学習、児童の興味・関心等に応じた課題学習、補足的な学習や発展的な学習などの学習活動を取り入れることや、教師間の協力による指導体制を確保することなど、指導方法や指導体制の工夫改善により、個に応じた指導の充実を図ること。」とされており、個に応じた指導の充実が求められている。また、『『令和の日本型教育』の構築を目指して』では、「個に応じた指導」を学習者の視点から整理した概念である「個別最適な学び」や、子供同士、あるいは多様な他者と協働しながら必要な資質・能力を育成する「協働的な学び」を一体的に充実し、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善につなげていく必要性が示されている。GIGA スクール構想により学校のICT環境が急速に整備されており、学校教育の基盤的なツールとしてのICTの活用が可能となりつつある。これは、「個に応じた指導」を実現するための非常に有効な手段の一つを新たに得たこととなり、今後はこの新たなICT環境を最大限活用し、「個に応じた指導」を充実していくことが重要である。さらにICTの活用により、子供一人一人が自分のペースを大事にしながら共同で作成・編集等を行う活動や、多様な意見を共有しつつ合意形成を図る活動など、「協働的な学び」もまた発展させることができる。

また、個別最適な学びと協働的な学びの実現に向けて、ICT活用の視点を盛り込んだ「個別最適な学び」に関する指導事例を収集し、周知することや「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実の重要性について、関係者の理解を広げていくことが大切であるとされている。

これらのことから、空知教育センターでは、研究主題を「『確かな学力』の育成を図る学習指導の在り方～『個』を生かす『協働的な学び』を取り入れた授業改善～」と設定し、今日的な教育課題の解明に寄与するとともに、その成果を管内に還元することを目標に2カ年計画の研究を推進していく。個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実を図った主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善を通して、「確かな学力」の育成を図る学習指導の在り方を明らかとすることを目指す。

(2) 主題設定に係わるイメージ図



「教育課程部会における審議のまとめ」に基づき空知教育センターが作成したイメージ図

3 研究の目的

- ・個別最適な学び・協働的な学びの一体的な充実を図った主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善を通して、「確かな学力」の育成を図る学習指導の在り方を明らかとすること。
- ・個別最適な学び及び協働的な学びにおける ICT 等の効果的な活用法について明らかにすること。

4 研究仮説

- ・個別最適な学びの過程において、ICT 等を効果的に活用することで、自ら学習を調整し、確かな学びにつなげることができるであろう。
- ・協働的な学びの過程において、ICT や思考ツール等を効果的に活用することで、自己の考えを広げ深め、よりよい学びを生み出すことができるであろう。

5 具体的な取り組み

【視点①】学びの過程に係わる取組

- ・個別最適な学び／協働的な学びが充実・発展していたか。
- ・個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実が図られていたか。

【視点②】ICT 等の活用に係わる取組

- ・ICT 等を活用することで児童生徒の学びが深まったり、広がったりしていたか。

【研究主題】

# 「確かな学力」の育成を図る学習指導の在り方

～「個」を生かす「協働的な学び」を取り入れた授業改善～

【研究の目的】

- ・個別最適な学び・協働的な学びの一体的な充実を図った主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善を通して、「確かな学力」の育成を図る学習指導の在り方を明らかとすること。
- ・個別最適な学び及び協働的な学びにおける ICT 等の効果的な活用法について明らかにすること。

【研究仮説】

- ・個別最適な学びの過程において、ICT等を効果的に活用することで、自ら学習を調整し、確かな学びにつなげることができるであろう。
- ・協働的な学びの過程において、ICTや思考ツール等を効果的に活用することで、自己の考えを広げ深め、よりよい学びを生み出すことができるであろう。

【視点①】学びの過程に係わる取組

- ・個別最適な学び／協働的な学びが充実・発展していたか。
- ・個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実が図られていたか。

【視点②】ICT等の活用に係わる取組

- ・ICT等を活用することで児童生徒の学びが深まったり、広がったりしていたか。

【教育研究推進協議会】

- ・理論研修
- ・指導案検討
- ・各種研修講座参加
- ・研修成果のまとめ・発信

【検証授業】

- ・授業公開
- ・授業反省

【派遣事業】

- ・道内教育研究大会等への派遣